

北海道教育大学大学院教育学研究科の入学受入方針（アドミッション・ポリシー）

（平成 29 年 3 月 28 日制定）

（令和 元年 6 月 25 日改正）

【大学院教育学研究科（修士課程）】

（求める学生像）

修士課程では、学校教育の高度化と多様化の進展に対応し、教育の場における理論と実践にかかわりのある学術諸分野の総合的・学際的な研究・教育を行うことにより、高度な能力、識見と実践力を有し、あわせて地域文化の向上に寄与できる専門的知識を備えた教員の養成を目的としています。したがって、次のような人を求めます。

<修士課程（共通）>

- 1 教育実践に対する強い意志と情熱を持つ人
- 2 教育に関する明確な研究課題と遂行する意欲を持つ人
- 3 教育に関する研究に必要な学力を持つ人
- 4 教員として必要な資質・能力を持ち、より充実した教育活動や授業を目指している人

上記に加えて

○学校教育専攻

- ・ 学校教育又は養護教育を中心とした研究に明確な目的意識と情熱を持つ人

○教科教育専攻

- ・ 各教科の教育を研究的な視点を持って遂行するため、その基礎となる諸科学の知識・技術・技能及び教科教育学等に関する学修を深め、具体的な教科教育上の課題解決に向けた研究に、明確な目的意識と情熱を持って臨むことができる人

○学校臨床心理専攻

- ・ 教育と臨床心理に関する研究に明確な目的意識と情熱を持つ人
- ・ 臨床心理に関する教育研究活動に責務を果たすことを目指す人

（入学受入の基本方針）

修士課程の入学受入は、求める学生像に合致する入学受入者を選抜するため、一般選抜（前期募集、後期募集）、現職教員特別選抜（前期募集、後期募集）、学外推薦特別選抜（前期募集）、学内特別選抜（後期募集）及び秋季入試の区分により実施します。具体的な選抜方法は、各年度において定める学生募集要項によるものとします。

【大学院教育学研究科（専門職学位課程高度教職実践専攻）】

（求める学生像）

高度教職実践専攻では、学校教育現場に生起する諸課題に対して、常に課題を俯瞰的に捉えて、多角的な観点から柔軟な発想を持って解決策を見いだすことのできる、高度な専門性を育成します。そのための力量と技量を、授業実践力、学級・学校経営力、生徒指導力、教育相談力、協働遂行力、地域教育連携力として身につけさせることを目的としています。

これらを踏まえて、特に現職教員にあっては、学校・地域の課題を自分の課題として自覚し、この課題の解決に向けて研究する意欲がある人を求めます。また、ストレートマスターにあっては、教職への強い意欲と情熱を持ち、将来学校を背負う中堅教員となることを自覚し、新しい学校づくりの有力な一員となる意欲がある人を求めます。

（入学者選抜の基本方針）

高度教職実践専攻の入学者選抜は、求める学生像に合致する入学者を選抜するため、前期募集（現職教員、ストレートマスター）及び後期募集（現職教員、ストレートマスター）の区分により実施します。具体的な選抜方法は、各年度において定める学生募集要項によるものとします。